

## 1 事業の趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に、広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。こうした日本画を志す、創造性あふれた若い人材の活動を奨励し、京都文化の発展に寄与することを目指し、新たな発表の場を創設する取り組みとして「京都 日本画新展」を5年にわたり開催してまいりました。同展は一定の成果を収めてきましたが、さらに伝統文化の裾野を広げることの重要性に鑑み、異なる視点を加えた「続(しよく)『京都 日本画新展』」として、平成25年度から5年間の事業としてスタートします。

## 2 主催者等

主催 西日本旅客鉄道株式会社、京都新聞社  
後援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、  
京都商工会議所、KBS京都、エフエム京都

## 3 運営体制

### (1) 推薦委員

大野 俊明 氏 (成安造形大学 教授)  
小嶋 悠司 氏 (京都市立芸術大学 名誉教授)  
竹内 浩一 氏 (日本画家)  
林 潤一 氏 (京都嵯峨芸術大学 名誉教授)  
村田 茂樹 氏 (日本画家)

### (2) 審査委員

内山 武夫 氏 (美術評論家・元京都国立近代美術館長)  
尾崎 正明 氏 (前京都国立近代美術館長)  
菊屋 吉生 氏 (山口大学教授)  
野地 耕一郎 氏 (泉屋博古館分館学芸課長)  
吉中 充代 氏 (京都市美術館学芸課課長補佐)

## 4 企画概要

### (1) 参加概要

原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね25歳から45歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品を要請、今回は39名が出品。

<参考>「京都 日本画新展」出品作品数  
第1回 37名、第2回 38名、第3回 37名、第4回 37名、第5回 38名)

出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に拡大。

大賞1点(表彰楯と賞金50万円)、優秀賞1~2点程度(表彰楯と賞金20万円)を選出。出品者全員に奨励金として5万円支給。

### (2) 作品の条件

テーマは自由。各1人1点のみとし、未発表作品に限る。

1点の大きさ 80号M(1455mm×894mm)以上

100号S(1620mm×1620mm)以下

額縁は70mm以内とする

### (3) 作品の発表

美術館「えき」KYOTOでの作品展

【実施期間】平成26年1月18日(土)~29日(水) 計12日間

・JR京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTOで作品展を開催。

作品展には推薦委員にもご出品いただきます。

ホテルグランヴィア京都での作品展

【実施期間】平成26年1月下旬~4月中旬

・JR京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等で作品を展示。

一定期間での展示替えを実施(推薦委員の作品は除く)

JR西日本発行物での作品紹介

作品をJR西日本発行のパンフレットなどで紹介。